

つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

鍵になる文や文章、各段落のつなぐ言葉、大事な言葉を手がかりに筆者の意図を読み取り、書きまとめる活動を行う。

活動のねらい▶ 本文のつなぐ言葉を手がかりに順序を考え、大事な言葉を使って書きまとめることができる。

ワークシート①

ここがポイント

書きまとめる文章中に、授業の中で最も筆者の意図を表しているキーワード（大事な言葉）を必ず入れるよう指導する。また、キーワードは、板書上にも大きく書いたり色分けしたりして可視化し、児童にわかりやすくする。

（期待される児童の姿）

大工事であることを読み取り、大事な言葉を見つけ、その言葉を使って順序よくまとめることができるようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

毎時間、本文の大事な言葉をヒントにしながらワークシートに書きまとめる活動を行う。

活動のねらい▶ 言葉を精選して、問いかけの文や説明の文を作ることができる。

ここがポイント

教師が児童一人一人の意図をくみ取り、できるだけ簡潔な問いの文に直せるよう個別指導で支援する。また、「～でしょうか。」「～からです。」等の文型指導もしっかり行い、ワークシート②を数多く活用することで書きぶりの定着を図る。

ワークシート②

①見つけたひみつにつながる文を書き出す。

②問いの文にする。

③答えの文と詳しい説明を書く。

（期待される児童の姿）

読み取ってまとめた文をもとに書かせることにより、大事な言葉を抜かさずに、クイズを作ることができるようになる。